

## 形成外科専攻医カリキュラム

### 1. 目標

通算4年間(他院での研修を含む)の形成外科研修を経て専門医資格を取得する。

### 2. 研修スケジュール

年度	
1年度	形成外科 (病棟 外来 手術)
2年度	形成外科 (病棟 外来 手術)
3年度	他の専門医施設で引き続き研修後、専門医取得
終了後の予定	他の専門医施設で引き続き研修後、専門医取得

### 3. 診療科の特徴

当科の診療内容は、皮膚外傷、指尖部切断、熱傷、瘢痕形成、皮膚良性腫瘍、あざ、顔面骨骨折、悪性腫瘍切除後再建、褥瘡、先天奇形(耳、手指、足趾の奇形など)などである。太田母斑、異所性蒙古斑、外傷性色素沈着症に対しては、Qスイッチアレキサンドライトレーザー、色素性母斑や尋常性疣贅、脂漏性角化症などに対しては炭酸ガスレーザーによる治療を行っている。血管腫に有効なレーザーは当院には導入されていないが、愛知医大の代務医師による血管腫外来を月2回行っており、診察、およびレーザー照射後のフォローは当院で可能である。

### 4. 研修体制

#### 1) 教育病院の指定の有無

日本形成外科学会専門医教育関連施設

#### 2) 研修カリキュラム

日本形成外科学会「形成外科研修カリキュラム」に準拠。

#### 3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

日本形成外科学会専門医 4年間(当院での研修期間は2年間)

#### 4) スタッフ体制

部長1名、専攻医1名

#### 5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

(1) 症例検討会: 毎週1回金曜日 15時~16時

#### 6) 主な参加学会

日本形成外科学会、日本創傷外科学会、日本美容外科学会

#### 7) 定期的に参加する研究会等

- (1) 日本形成外科学会学術集会 年1回
- (2) 日本形成外科学会基礎学術集会 年1回
- (3) 日本形成外科学会中部支部学術集会
- (4) 日本形成外科学会中部支部東海地方会

## 5. 主な経験目標

### 1) 診察法・検査・手技

#### (1) 診察法

外傷、皮膚腫瘍、先天異常の診断。手術のプランニング

#### (2) 検査法

顔面骨骨折、皮下腫瘍などの画像診断(CT MRI)

#### (3) 基本的手技

形成外科的縫合術(真皮縫合)、植皮術、皮膚腫瘍摘出、局所皮弁手術

#### (4) 基本的治療法

創傷の処置、管理

### 2) 経験すべき症状・病態・疾患

皮膚外傷、皮膚良性腫瘍、母斑、瘢痕、ケロイド、褥瘡、難治性潰瘍、指尖部切断、損傷、熱傷(植皮を要するも含む)、顔面骨骨折、手、足、耳などの先天奇形、遊離皮弁、有茎皮弁による再建術

### 3) 研究会・学会発表・論文発表

(1) 学会発表 以下の学会のいずれかに3回以上の発表を行う。

日本形成外科学会

(3) 論文発表 以下の学会誌のいずれかに1編以上の掲載を行う。

日本形成外科学会誌、形成外科